

連載 防災マニュアルは心の中に！

今年も引き続き「地域豊醸化」に関わる「風の人・土の人・水の人・光の人・火の人」から『まちづくり』を考えます。今回は「土の人」について。

「土の人」とは、土の性質を持った人のことであり、その土地に運ばれてきた種を温かく守る人や、地域を支えコツコツと耕す土台的な人のことです。



土の人は、それぞれの地域を基盤として活動している人が多いようですが、実際のところ他の所から来た人や、地域から一度外に出てUターンして帰ってきた人も多いようです。その人達は、その土地に愛着を持ち、その場所でそれぞれ思いのこもった活動をしながら地域を育てようとする性質を持っています。ところが地域豊醸化に向けて少しだけ問題があります。

土が肥えていて、農作物がよくできるような肥沃な土地であり、何を植えても育つような土地であれば問題はないのですが、そのような土地は非常に珍しく、実際には土地が荒れ果てて傷ついたり、土地全体が病んでいたり、既に枯れはててしまっているような土地もあります。そのような土地で『種を植え、芽吹かせ、花を咲かせ、実らせる。』このサイクルを継続させる文化を創り上げる為には、『土の人』だけでは無理だと考えられるのです。

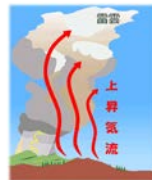


まちづくり・地域づくりを植物の栽培に例えることが多いようですが何故でしょうか？おそらく、地域の中で進める何らかの活動や表現行為を行うことが、植物を育てることに似ているのではないかと思います。『種を植え、芽を吹かせ、苗を大きく育て、強い葉や幹をつくり、蕾をつかせ、花を咲かせ、実を実らせ、実を利用し、種を収穫する』このサイクルを根付かせる「文化」にできれば、地域豊醸化に向けて動きます。その為にも、種を植える前の「土作り」は絶対に欠かせません。

その「土の人」に必要なチームづくりがあります。もし開花しなくても、実が利用できなくても、「失敗」とは思わず、枯れても土に戻り、古い土の養分となり、次の発芽や開花に繋がると考えることのできる「土」の集合体『土地・地域』というポジティブチームをつくることです。ポジティブに考えると無駄な活動や無駄な表現行為はなくなり、どんなことでも何らかの養分となり、その土地の経験値となります。「失敗は失敗と思うこと自体が失敗」であり、あくまでも何かをやったことの経験値の加算なのです。何もやらなければ、経験値は全く加算されません。そう考えると経験値の加算は土地への「肥料」です。ところが「肥料や水のやり過ぎ」は



土を肥沃にさせることを通り超え、逆に「土を腐らせる」ことにもなります。そう考えると『土』自体は強い吸収力があり、外部からの影響を受けやすいという性質も持ち合わせています。



また「土の性質」には、外部からの影響を受けやすいだけではなく、土からも外部へ発信をすることがあります。それは土そのものの性質や外部からの影響により、土は熱を発します。その熱は上昇気流を生じさせ、その上昇気流が空気を大きく動かし風をつくります。その風に乗って様々な性質の人・物・情報等の『種』が運ばれてきます。そう考えると「土の人」が集まることで「風の人」を生み出すとも考えられます。更には、上昇気流は風となり、雲を生み出し、雨をつくります。このことから「土の人」は「風の人」を生み出し、「水の人」も作り出します。すべての人の基盤となるのは「土の人」であると考えられ、それらは「土の人」が外力や集合によって、他の性質を生み出すのだと考えられます。

ところが一概に「土」といっても、肥えた土もあれば、痩せた土もあり様々です。その土に根付く種もあれば、芽吹きすらない種もあり、種の方も土を選ぶようで、畑や田んぼのような場所でなければ育たないものもあれば、岩だらけの崖っぶちでしか育たないものもあります。「芽吹くこと」ひとつをとっても相性ということも存在するようです。



土がどんなに肥えていても、どんなに良い種がまかれても、お互いからの「興味」が注がれなければ育つことはありません。更には「興味」というものには必ず「善意」が付きまとわなければなりません。この善意がなければ、種は一時的に発芽しても継続して長期的に育つことも無いし、枯れてしまうことに繋がってしまいます。まちづくり・地域活動も全く同じで、温かい心『善意』を持って行動することが重要です。

「これをやれば自分が得をする」といった行動をとれば、一時的には多くの人興味を持ち集まりますが継続した活動にはなりません。「善意の心で活動すること」これが最も大切なのです。



「地域豊醸化に関わる人」からまちづくりを考えていく中で、あらためてグリーンシティの方々の善意の温かい心を感じることができました。「土の人・加古川グリーンシティの人々」と共に歩んだ阪神・淡路大震災からの23年、今後も善意の心を持ちつづける地域活動・防災活動をしましょう。その為にも正しい情報の共有が大切！情報共有は難しいことを考える必要もなく、大きな話題も必要ありません。『日頃の挨拶』が最も簡単で大切な『話題』なのです。挨拶を通して、今年も一年「楽しく防災活動をしましょう」

次回は、地域への命の水となって注ぐ「水の人」。